

栗きんとんの加工に適するクリ新品種

「えな宝来」、 「えな宝月」

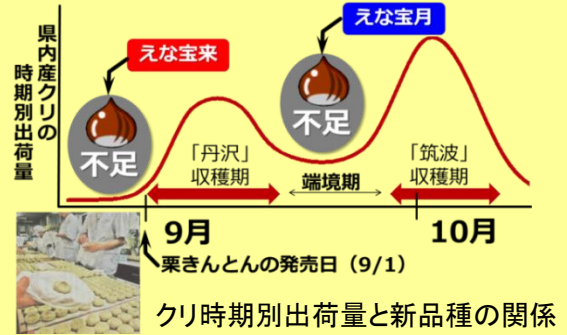


育成の背景

* 主用途である和菓子「栗きんとん」の販売開始にあわせ、8月下旬から収穫できる極早生品種が求められていた。

* 早生品種「丹沢」と中生品種「筑波」の間に収穫でき、従来の補完品種「国見」よりも加工に適する品種が求められていた。

これらのニーズに応えられる、高品質で多収性の岐阜県オリジナル品種を育成した。



えな宝来



【来歴】 胞衣×丹沢 (H14人工交配)
 【収穫期】 8/23～9/7 (H23～27平均)
 <H28. 3品種登録 第24746号>

えな宝月



【来歴】 筑波の実生 (H9自然交配)
 【収穫期】 9/11～9/25 (H23～27平均)
 <H28. 3品種登録 第24747号>

特徴

- ・ 「丹沢」より早い8月下旬から収穫できる極早生
- ・ 収量性良く、極早生では果実大きめで双子少ない
- ・ ホクホク感良く、栗きんとん加工に向く
- ・ 加熱時の渋皮剥皮性良い



渋皮が剥ける様子

特徴

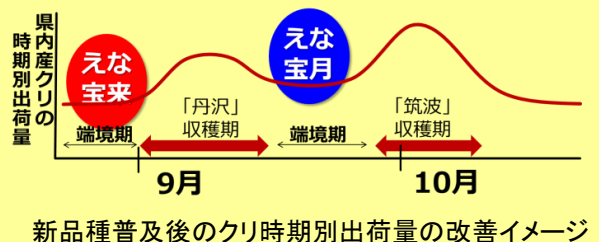
- ・ 「丹沢」と「筑波」間の9月中旬に収穫できる早生
- ・ 収量性良く、不良が少ない
- ・ 黄色で、ホクホク感非常に良く、栗きんとん加工に非常に向く



栗きんとん試作品

普及見込みと導入効果

1. H26～27で1,700本(4.2ha相当)植栽済み
→ 将来的に10,000本(25ha相当)植栽見込み
2. 両品種の普及
→ 出荷端境期の解消で安定供給と収穫労力分散
3. 加熱すると渋皮が剥ける「えな宝来」
→ 焼き栗用途として利用可



岐阜県中山間農業研究所 中津川支所

〒509-9131 岐阜県中津川市千旦林鍛冶屋平643
 Tel (0573) 68-2036 Fax (0573) 68-3116

岐阜県中山間農業研究所

検索